

(様式1)

令和2年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立第三寺島小学校
校長名	福井 みどり

1 本校の学力に関する状況

(1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・国語科はどの学年も全国平均正答率を上回っている。(学年経年変化)・算数科では2年生・3年生・4年生が全国平均正答率を上回っている。(学年経年変化)・社会科では、6年生が全国平均正答率を上回っている。(学年経年変化)	<ul style="list-style-type: none">・5年生の算数が全国平均よりも低く、特に技能、知識・理解に課題があり、学習の定着が十分ではない。・5・6年生の理科が全国平均よりも低く、全般に課題がみられる。観察・実験の技能の未習得・知識・理解が不十分である。

(2) 意識調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・「生活習慣」の肯定値が高い学年が多い。・「ささえ」(家族・友だち・先生)を感じている学年が多い。	<ul style="list-style-type: none">・学力が低い児童は肯定値も低い傾向にある。・「充実感と向上心」の肯定値について、低い傾向にある。・「学習習慣」の肯定値が低い学年が多い。

(3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・元気に楽しく学校に通っている児童が多い。・宿題に毎日取り組める児童が増えてきている。	<ul style="list-style-type: none">・家庭学習の取組が全体的によくなっているが、取り組めていない児童も各クラス数名いる現状もあり、その児童の学力が低い傾向にある。・家庭での読書活動について低迷している。・D・E層の児童のほとんどが1つの教科ではなく、全般において学力が低迷している。

2 本年度の学力向上に関する主な取組

(1) D・E層の児童への取組の強化

- 学力調査の分析
 - ・未習得内容の分析及び改善
 - ・データ管理（来年度以降の取組への資料）
- 放課後補習クラブ・放課後すみだチャレンジ教室
 - ・放課後等の時間確保
 - ・少人数体制での補習
- 個別支援の強化（授業内）
 - ・授業での時間確保
 - ・個別支援の工夫（ワークシートの工夫、ヒントカード等）

(2) 読書、自主学習及び家庭学習の充実

- 読書の定着
 - ・昼読書の時間確保
 - ・読書環境の整備（推薦本の紹介、図書館整備）
- 自主学習の取組
 - ・定期的な取組により習慣化
 - ・内容の工夫（内容紹介などにより意欲向上）
- 家庭学習の取組
 - ・各種のドリル・復習プリントの取組
 - ・家庭との連携（家庭学習パワーアップ週間の設定、保護者との協働）

(3) 本校の課題である学習の取組

- 理科の観察・実験について
 - ・授業改善及び振り返りの徹底により習得
- 国語の言語事項について
 - ・辞書引き及び読書等への取組の強化
- 書く指導の系統的な取組
 - ・校内研究を通して、自分の考えを表現できる児童の育成

3 「令和3年度 墨田区学習状況調査」における目標

- ・D・E層の50%減少
- ・全教科の全国平均正答率より高い結果
- ・同一集団で昨年度の正答率と比較して、全学年が高い結果